

(1) 内子町のあらまし

面積: 299.43km²

人口: 14,852人

(令和6年4月1日現在)

(2) 保存地区の概要

地区名: 内子町八日市護国

種別: 製蠟町

面積: 約3.5ヘクタール

伝統的建造物: 93棟

選定年月日: 昭和57年4月17日

特徴: 江戸後期から明治にかけて建てられた豪商屋敷や町家が軒を連ね、木蠟生産で栄えた町の面影を残す。浅黄色の漆喰で塗り込められた重厚な大壁や平入り造りが特徴。隣家との間に残る小道や水路は、大壁や石積などと相まって独特の路地空間<せだわ>を生んでいる。懸魚(げぎょ)や虫籠窓(むしこまど)など、家々の意匠も変化に富んだ町並み景観を創り出している。重要文化財の大村家住宅、本芳我家住宅、上芳我家住宅を含む約600mの通り一帯が歴史的風致をよく伝えている。

愛媛県内子町は、県都松山市から約40kmの地点にあたり、松山自動車道 松山ICから内子・五十崎ICは車で25分という交通アクセス。町の中央部を一級河川・肱川の支流小田川が流れている風光明媚な中山間地域である。平地は少なく、山林が77%を占めている。気候は小田深山を除き、四季を通じて温暖で、そこではぐくまれた農林産物は多種多様である。江戸から明治にかけては、木蠟や和紙などの生産地として名声を高め、その繁栄の佇まいを今に伝える、内子町八日市護国重要伝統的建造物群保存地区及び芝居小屋内子座に代表される「町並み」、グリーンツーリズム等農村部における「村並み」、自然豊かな小田深山を中心とする「山並み」など地域資源を生かしたまちづくりに取り組んでいる。

本芳我家住宅(重要文化財)

せだわ

<内子座(重要文化財)>

大正5年(1916年)に大正天皇の即位を祝い創建された。木造2階建ての瓦葺き入母屋作り、純和風様式の本格的な芝居小屋。回り舞台や花道、桝席、楽屋などがあり、当時の建築技術の粋が集められた建造物である。



内子町八日市護国(愛媛県)

(3) 保存地区のあゆみ

- 昭和47年(1972) 集落町並み調査第1次調査表を愛媛県教育委員会へ提出
- 昭和50年(1975) アサヒグラフで町並みが紹介される
- 昭和51年(1976) 八日市周辺町並保存会発足
- 昭和52年(1977) 松竹映画「坊ちゃん」ロケ実施
伝統的建造物群保存地区保存対策のための調査実施
内子町八日市周辺町並み保存対策協議会を組織
- 昭和53年(1978) 内子町伝統的建造物群保存地区保存対策調査報告書完成
内子町伝統的建造物群保存地区保存対策費補助金交付要綱制定
- 昭和54年(1979) 役場内に町並保存対策プロジェクトチーム設置
- 昭和55年(1980) 内子町伝統的建造物群保存地区保存条例制定
内子町八日市護国伝統的建造物群保存地区保存計画策定
- 昭和57年(1982) 「重要伝統的建造物群保存地区」選定(四国で1番目 全国で18番目)
- 昭和61年(1986) 八日市護国地区町並保存会発足総会
- 昭和62年(1987) うちこ六日市・八日市護国地区伝統的建造物群保存地区保存対策調査報告書作成
電柱移転・電線の地中化(昭和62年～平成元年)
- 平成 2年(1991) 大村家・本芳我家・上芳我家の3件が重要文化財に指定される
- 平成 6年(1995) 八日市・護国地区が「都市景観大賞」(景観形成部門)受賞
- 平成10年(1998) 伝建地区「総合防災計画」策定
- 平成11年(1999) 伝建地区に耐震消火栓敷設
- 平成12年(2000) 伝建地区内に内子町八日市・護国町並保存センター設置
(八日市護国地区町並保存会の事務所も兼ね、官民協働で町並保存対策を実施)
- 平成17年(2005) 内子町・五十崎町・小田町の3町が合併し新内子町が誕生
- 平成20年(2008) 八日市護国伝統的建造物群保存地区見直し調査開始, 調査完了(平成22年)
- 平成25年(2013) 重伝建選定30周年シンポジウム開催
- 平成27年(2015) 内子町が文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)受賞
芝居小屋内子座が重要文化財に指定される

選定前(昭和50年代)の様子



現在の様子



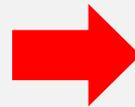
(4) 保存地区の保存と整備

年度	町並保存に要した事業費		補助金額(円)	
	修理	修景	修理	修景
1978	1	1	361,000	460,805
1979	4	0	2,158,236	0
1980	11	6	1,833,935	1,980,251
1981	5	1	2,443,400	1,500,000
1982	11	2	14,291,000	2,287,000
1983	11	3	9,383,700	2,128,000
1984	9	2	18,302,000	4,452,000
1985	21	1	31,231,000	690,000
1986	9	1	22,018,200	249,000
1987	7	2	17,853,600	1,889,000
1988	6	4	9,720,000	3,436,000
1989	4	4	7,501,784	4,822,110
1990	8	4	8,309,432	2,487,180
1991	11	1	6,714,436	3,998,460
1992	9	5	2,524,384	4,991,466
1993	5	1	5,383,192	50,470
1994	7	4	7,060,724	2,600,406
1995	11	2	11,728,574	4,016,237
1996	23	5	12,781,666	762,215
1997	9	5	4,119,120	5,459,020
1998	9	1	14,221,153	4,999,960
1999	7	4	26,189,760	6,947,618
2000	11	5	18,843,804	7,751,540
2001	6	9	3,196,234	3,172,650
2002	7	9	4,064,380	8,225,393
2003	8	6	12,368,913	9,488,026
2004	9	6	19,617,566	9,815,689
2005	11	7	20,690,362	4,873,531
2006	5	2	17,006,800	1,861,000
2007	7	3	19,273,000	5,270,000
2008	5	0	24,265,000	0
2009	3	3	20,238,000	3,602,000
2010	7	1	25,798,000	25,000
2011	7	1	15,209,000	49,000
2012	5	1	4,094,000	98,000
2013	7	1	10,080,000	177,000
2014	9	4	6,879,000	757,000
2015	9	1	7,322,000	70,000
2016	3	5	11,029,000	8,309,000
2017	14	2	30,216,000	3,539,000
2018	13	1	17,209,000	1,146,000
2019	6	2	5,547,000	674,000
2020	6	6	17,431,000	2,851,000
2021	4	1	27,211,000	98,000
2022	1	0	3,619,000	0
2023	3	0	8,644,000	0
合計	364	135	585,982,355	132,060,027

修理事業の例



修景事業の例



土塀修理



木製の室外機カバー



木製のガス置き場



(5) 保存地区の活用とまちづくり

伝統的建造物の保存・活用とその波及効果

- ・木蠟資料館上芳我邸を拠点に町内の歴史資料の調査研究を推進
- ・古民家をリノベーションした「宿」が3件オープン

→①空き家の解消, ②観光客及び滞在時間の増加, ③情報発信の変化

・町並保存の波及効果

- ①内子座の保存: 老朽化により取り壊して駐車場にという動きがあったが町民の熱意で保存に成功。
- ②村並み保存: 市街地ばかりでなく農村集落を元気にする運動。最初の舞台は「石畳地区」。地元の住民で「石畳を思う会」を結成し、水車を復活させ「水車まつり」の開催, 照葉樹の植林等を実施。
- ③「内子町屋外広告物条例」, 「内子町景観まちづくり条例」を制定し, 「景観まちづくり計画」を策定。町民, 事業者, 行政との協働で景観まちづくりを推進。



一棟貸しの宿



一棟貸しの宿



ゲストハウス

(単位: 人)

項目	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
入込観光客合計	1,107,328	1,053,928	1,111,088	1,028,500	1,130,689	1,161,090	1,198,888	1,239,255	1,291,181	1,131,108	1,076,087	1,145,842	884,937	852,688	929,629	950,202
宿泊客	19,991	13,529	14,849	14,738	15,550	14,582	14,452	14,814	15,057	38,330	41,650	39,735	33,934	7,363	9,147	10,682
県外客	511,143	486,493	512,878	490,800	491,397	451,277	485,550	630,781	712,302	527,850	538,044	572,921	212,385	298,441	381,148	427,591
県内客	596,185	567,435	598,210	537,700	639,292	709,813	713,338	608,474	578,879	603,258	538,043	572,921	672,552	554,247	548,481	522,611

(6) 八日市護国地区町並保存会の取り組み

会員数: 正会員84名 賛助会員: 15法人 個人30名

役員: 会長1名 副会長1名 事務局長1名 会計1名 幹事若干名 会計監事2名

保存会は、八日市護国町並保存地区が地域住民の歴史と文化に育まれた暮らしの場であることを自覚し、町並保存地区住民の意思に基づいて、よりよい住いの環境を整え、個性豊かな地域づくりに取り組んでいる。

<主な活動>

- ・毎月第1日曜日の清掃活動
- ・観光に関する調査研究
- ・八日市町並観月会の実施
- ・伝統行事「どんど焼き」の実施
- ・機関誌「町並にゆーす」の発行
- ・伝統的建築物の修理等の相談
- ・他の伝建地区との交流
- ・防災訓練の実施



防災訓練



どんど焼き



八日市町並観月会